



地方御来全



明治三年庚午四月

官許 地方往來全

東京書賈 青松軒藏版

地方往來

夫地方者國之根本也。

先檢地者六尺壹步。

間竿哉以者友三百。



坪つと相あい定まめ。新ま田ん新ま開ん

改あら出し芝あ地ち空く地ち附つ寄ま海う

大お繩ま反と別ん地ち代だい金きん上じやう納なつ

鹽えん拔はつ鋤しゆ下げ試し作さく地ち味あじ相あひ

應お方かた取とり。捨す地ち以もつ高たか八はち

石い盛せい免めん合あ土つち地ち之の位ゐ子こ

應おト。上う中ちゆう下げ田でん畑はたけ斗と代だい

分ぶん米まい并な筋すぢ溝みぞ代だい早はや稻いね晚おそ

手て糲もち苗あへ實こ入いり各む地ち高たか越こ
 石こく私ま領りやう上じやう知ち鄉がう村そん請うけ取とり
 高こう掛か物ぶつ六ろく尺しやく給たま米まい以も藏くら
 前まへ以も傳でん馬ば宿しゆく入いり用もち出で日ひ

口くち延のび米まい計けい立た或ある者もの夫ぶ金かね
 夫ぶ米まい等らう仕し来き者もの拾ひろ見み者もの
 名な主ぬし組ぐみ頭あたま年とし寄よ百ひゃく姓せい代だい
 田た主ぬし立た會あひ耕こう地ち一ひと筆ふで限かぎ

回每了番附立札上中

下立毛肉見合附毛

揃皆無青立虫附立枯

仕付煮逸くお改春法

道具と繩筵錘杵箕場

所不殘案内皆每引戻

坪刈帳ハ稻藁株数改

出合田主村役人連印

此方主来

水旱損免定免

過三分已上損免

破免相立新規定免

年季賦定相当

增米本途見取石代金

納涉取箇割附皆濟目

録荒地起返免上切

添切開畑田成屋敷成

流作反高お改置居置

米郷蔵貯穀圍籾去年

新穀引替以廻米々

上中下手本米欠米俵

拵升廻一五里外駄賃

廻船者東海西海廻り

日和見定湊出帆空船

送状和申日記入津滞

秘浦役人證文取之積せん。うら。や。まん。せう。めん。らねをとり。つみ。

所着岸拵立闌俵貫目ところ。ちや。がん。まひ。とて。くた。ひやう。くせん。め。

點改船足極印限里積かけ。あへん。ふね。あし。きま。いん。りき。こんを

立納庄屋上乘船中たて。いれ。せう。や。うり。せん。ちゆう

法條目涉城米浦觸様てい。せう。めい。せう。じやう。まい。うら。ふく。さま

俵主袋箱入海上海上蕪破ひやう。ぬし。ふくろ。いれ。うみ。うみ。うし。かぶ。やぶ

初役所陣屋注進水船はつ。やく。しよ。ぢん。や。ちゆう。しん。みづ。ふね

淫汐入櫓桁未折碇綱ひやう。しほ。いれ。りやう。へら。まひ。せり。いかり。つな。

切拂本欠粮米諸道具
刳捨舟足を輕め、船頭
揖取水主炊爨組無難
漂若浮荷物陸揚海中

掛揚濡澤手曠腐更痛
千立再積廻又去所法
拂入札をべし納不足
心劣心藏出米糴増見

地方生来

分役人ぶん。やく。ひとに差圖の。さし。ず子任こ。にん以。

買納切下石かい。のう。きり。くだ。いし舂瀨取水せ。り。みづ

揚肉拵升也あげ。あひ。こし。と。やち。ちぎ細太餅ほそ。ふと。もち

荏大豆代米じん。だい。まめ。しろ。こめ以張紙直もち。はり。かみ。ただ

段三兩增口永包だん。さん。りやう。ぞう。くち。とこ分銀ぶん。ぎん

夏秋成皆納麥作小物なつ。あき。なり。みな。のう。むく。さく。こ。もの

成運上冥加山手米なり。うん。じやう。めい。か。やま。て。こめ浮うき

役草永漁獵菜種蠟實やく。くさ。とこ。えい。りやう。りやく。さい。ね。し。ろう。じつ

也方注

漆うるし粟あへ蕓ひえ炭すみ燒やき水みづ車こ油あぶら絞きり

酢す醬せう油ゆ酒しゆ造ぞう稼くせき儲たくわ又また山さん

出い水みづ欠か所ところ流なが失しつ堤つみ川がは除とけ

用もち惡あく水すい堰せき樋ひ類るい槁こう定ぢやう式しき

急きゆう破ぱ以い普ぷ請しん目もく論ろん見けん川がは

除と蛇ど籠ろう籠ろう聖せい棚たな牛うし笈あし牛うし刻おこ

梓し沈ちん梓し抗かう角かく立た成せい木ぼく敷しき

成せい木ぼく合が掌てん木ぼく雜ざ木ぼく釣てう木ぼく

本草綱目

梁木びき水刻みづ枕出まくら石積浪いしづみ

除堤敷馬踏腹附土取とりのり

羽口はねぐち葉唐竹はなからたけ麁朶あらた萱藁あしら

藤橋ふじはし其臺そのたい行拵ゆきぐし兜巾かぶと板笠いたかさ

本地ちがひ覆木ふくぎ男木おとこぎ鯨釘くじらづち

圪いり樋ひ甲蓋かぶた板いた樋ひ尻板しりた兩りゆう

袖土そでど抱柱かかぢ扣木ひくぎ戸前かどまへ目め

通尺とおりさメめ末口すえぐち木挽きびき大工おおい

賃米并正扶持米人足

溜井後寺村役也出火

類燒人馬怪我小屋掛

農具代拜借鋤鎌馬

鋤稻扱肥桶印等あり

凶年不作病難を種穀

麦代飢吏食相續正救

涉巢鷹山正林雪折立

枯く小こ苗な木ぎ成せい木ぼく伐きり透と五ご

海う道みち脇わき往まう還くわん諸ちよ家け叅さん勤きん

交かう代だい御ご用よう通つう行かう杖つゑ拂ふき法ぽう

關せき所しよ口くち留どめ先さき觸これ添そへ御ご朱しゆ

印いん法ぽう證しやう文ぶん繪え符ふ關せき札ふだ觸ふれ

助すけ鄉ごう人じん馬ば以い定ちやう賃ちん錢せん本ほん

馬ま輕くら尻ぢり棄の掛け駄だ荷か系けい物ぶつ

引ひ戸き垂くだ駕が籠ご長ちやう持ぢ兩りやう掛け

竹馬合羽たけうまあは筆ひし宰領さいりやう付添つきぞへ

貫目くわんもく熟改じやくかい休泊きゅうはくと旅籠りやうりやう

木錢きせん米代こめしろ往來わうらい並木なみき渡わた

船川せんがわ越こ相對たいがい雇割こひわり増掃ぞうほう

除と丁場ちやうば繼つぎ立日たつひ帳本ちやうほん

陣問ちんもん屋當やとう番ばん非番ひばん勤之しんと

且かつ又また公事こうじ出入でいり添そへ簡かん奉ほう

行ぎやう和呼わよ出吟でぎん味評あじひやう定所ぢやうじよ

此方行来

十四

式日之會内寄合目安

訴狀雙方訴答對決申

爭嚴重利害家督跡式

押領私欲賣挂損料滯

家質貸借不實雜訟議

定異變裁許繪面裏書

證據讓狀手形肉濟示

談仍届濟口吟味下山

論地境秣場入會土地

改見分水盛分見用水

場所熟談法高札切

支丹博奕火附徒黨強

訴法度四季打獵師

鑊炮郵差出明細帳宗

判人別五人組帳前書

皆濟目錄拜見謄文村

乙

十五

入用夫錢帳小前連印

隱賣女旅芝居涉制禁

在方相撲素人哉不交

興行出家社人修驗山

伏浪人虚無僧座頭替

女穢多非人物賞止宿

勸化合力田地永代賣

切畝歩以停止質地

年季ねんきと定字位とくじめ。あきまゐい。及別等べつらう

水帳みづちやう子引合名主奥印ひきあひせ。かぬー。おくいん

年季ねんき明不靖あけ。うけ。まじず。戾流地直らむ。ち。ぢやう

小作こさく名田小作なでんこさく永小作えいこさく小作こさく

讓渡書じやうだふしょ入作いりさく徳漬とくじ百姓ひやくしや

未進みしん五分ごぶ以上いじやう損毛そんもう高たか

懸物くまぶつ免除めんじゆ返納へんのう年延ねんえん檢けん

使し變死へんじ首くび縊溺くわじやく死し仍ゆき

也方生

倒村送病人相果達扎
 假埋邨預喧嘩口論疵
 付片輪醫師療治平癒
 食盛女相對死死骸取

捨人殺盜賊入牢囚人
 獄門死罪遠島追放所
 拂手鎖過料敲以仕置
 入墨急度以叱沛赦歸

住困窮取逃欠落行衛
 不知永尋舊離勤當帳
 外捨物家財閑所役義
 取放將又孝行奇特名

字帶刀以褒美金銀頂
 戴九十歲以上老養小
 兒艱育手餘起返農業
 出精家内睦敷村柄立

直質素儉約相守百姓

相續子孫繁昌取締宜

敷風俗淳厚ある哉昇

平と云

地方往来附録

- 一永壹貫文ハ金壹兩ナリ永ヲ錢ニ直スル錢相場を掛べし
- 一田地 壹町 三千坪 壹反 三百坪 壹畝 三十坪
- 一古檢々壹反三百六拾坪にて間竿も六尺三寸を用る所も有り
- 一石盛々地の位より上田壹歩又粗壹升取と見よ六壹反又粗三石あり
- 此粗五合の相立として壹石五斗となる則ち壹反の高壹石五斗の石盛也
- 免ハ五ツに當り地味劣下々田禱田林畑切畑閑畑などいふ石盛も三ツ
- ニツ位も有り斗代といふも石盛と同ト
- 一田の畝歩へ石盛を掛て米を見るを分米といふ
- 一取米して高を割れ免幾と知るなりわ
- 一高百石に付六尺給米ハ米貳斗ハ庚蔵前入用ハ永貳百五拾文ハ御傳

馬宿入用の米六升ツの穀る長を三役とソノ
夫金夫米穀の六尺拾米のらねなり私領つりりなれハ三役を取
夫金夫米ホを然る

一斗立を米三斗五升ツの穀る本石ハ三斗七升を穀り三斗五升ハ
て割る出目米も同じ

一口米ハ三斗五升ツの穀る本米を三五して割て知る

一檢見色取の法を三合毛又を式合壹合毛と一筆限り内見帳に寄立る所を
毛揃とソノ付出一の穀ることなり

字何
北番

田主
何

一上田壹町ト 内見三合毛 改五合

一下田壹反ト 内見貳合毛 改三合

右内見三合毛と貳合毛との改出合平均壹合五夕也是を壹町壹反トを三
と掛て坪に直一壹合五夕を掛たれハ刈出穀四石九斗五升となる是に付
出穀九石六斗と加へ拾四石五斗五升と成是を四割して取米三石六斗三
升七合五夕となる干減ハ時の見しりひなり

一五里外駄賃とソノ村方より五里内ハ村役して持出夫より外ハ駄賃
下り

一寔俵ハ惣俵の内より船頭寔といき三拾六俵撰出貫目掛分け五分一
を抜出俵入の平均を見るなり

三拾六俵 内 拾三俵 此五分一三俵 廿メ目

拾壹俵 此五分一貳俵 廿壹メ目 拾貳俵 此五分一貳俵 廿貳メ目

ノ七俵平均貫目廿壹貫五百目升廻五斗貳升 となる

是と袋箱入着岸の自當として欠減を知る

一 糶米ハ船方上乘庄屋船中の飯米なり

一 欠米ハ本米百石に付米貳斗に渡す

一 海中より沈儀を掛揚げるとその入と其米高の三十分一を遣いなり

一 所廻米と運賃米と仕分る法

高米四拾八石九斗六升此内運賃米壹石に付米貳升に分る

法一令式にて高米四拾八石九斗六升を割るに所廻米四拾八石と成是へ式をうけて運賃米九斗六升と知る事なり

一 買納ハ百俵に付運壹枚代錢貳拾四文に梳五枚壹枚の代錢拾貳文に割る

一 切下石といふハ買納の節壹俵に付米五合に差加る事也

一 細太餅々代米三割増なり餅壹升に付壹升壹合に渡り

一 荏大昆代米ハ壹斗に付代米五升に渡り

一 口永ハ永壹貫文に永三拾文に銭る

一 包分限ハ金百兩に付銀五匁にたり

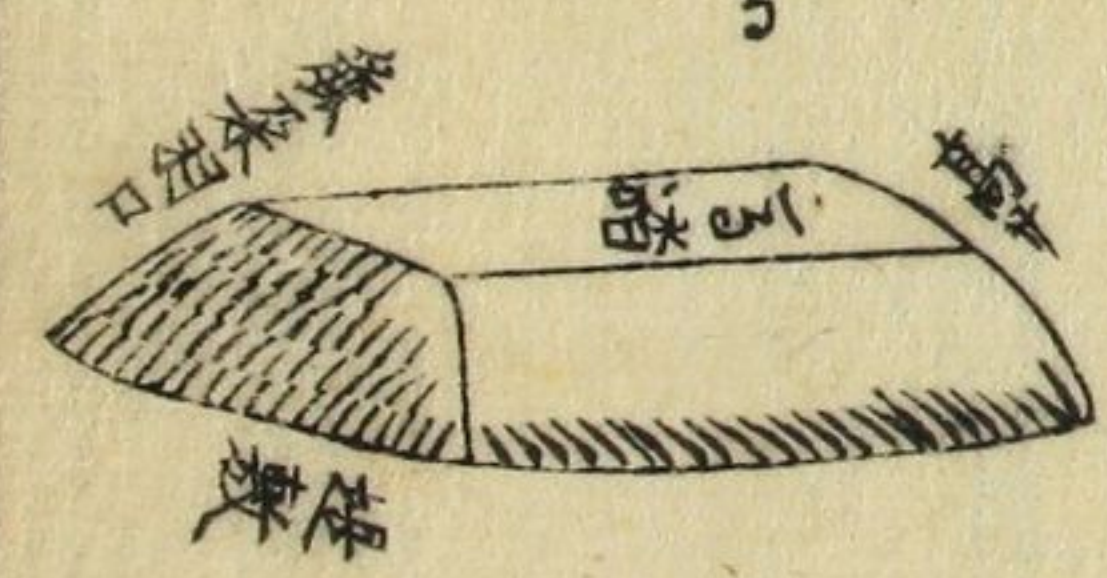
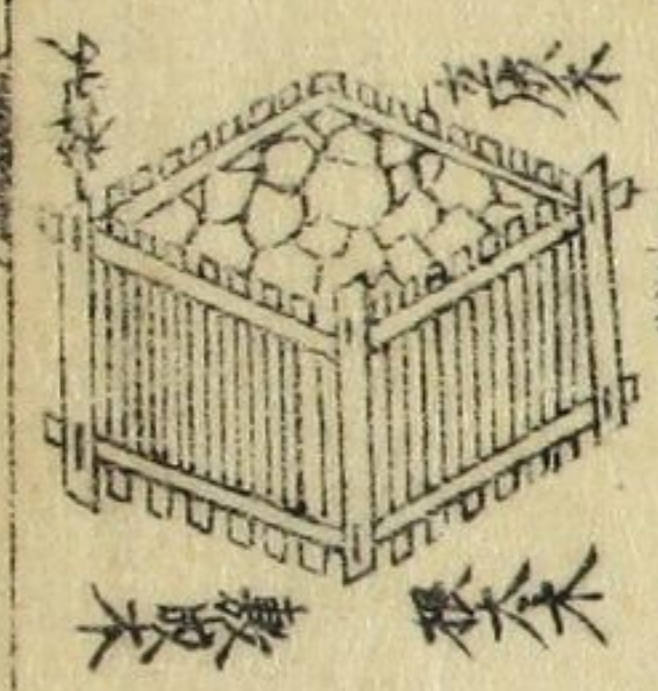
一 蛇籠ハ 長五間 差渡壹尺七寸 此石坪三合壹匁七文

算法ハ壹尺七寸を掛合せ圓法七九を掛長五間を掛三六にて割るなり

一 沈粹 内法 高四尺三寸 壹丈壹尺方 此石貳坪四合

壹丈壹尺を掛合せ四尺三寸を掛貳百拾六に割る

沈 粹



一 塋長 八拾間 平均 ちちき丈尺 踏七尺 八間

此土七百三拾三坪

一 美法と敷八間と丈として四丈八尺より踏七尺を加へて割高壹丈貳尺と
うけ長拾間とうけ三六にて割

一 小屋掛ハ壹軒付大躰金三分ノ五箇年返納なり

一 種籾支開東甲お伊早と及ハ籾七升麦八升上方中國西國ハ三升五合北
國ハ九升首なり三割の利を加へて貸はなり

一 夫食ハ男々一日籾四合六拾歳以上拾五歳以下の女々一日籾貳合ツ九三十
日分貸ハ 一尺ノ長貳間 此尺ノ九分五厘六毛 目通 壹尺壹寸

一 術目通と三六にて割り長と実法に於て掛合せ目通りより上壹間付
壹寸ツ細々と引実法と合せ五とうけ右を實法に掛合せ七九とうけ長サを
うけ壹式にて割る

一 貸金利息の割 壹箇月金壹分の利にて 金拾兩ハ三割 金拾五兩ハ貳割
金貳拾兩ハ割五分 金三拾兩ハ割

一 術小三兩と置高金にて割ハ何割と知る 金拾兩ハ五分
金六拾兩ハ五分

一 壹箇月の利息と見る法 貳拾兩ハ五分の利ハ割五分なりを割五分と置法貳分
割ハ壹ヶ月を兩の利分銀七分五厘と知るなり

一 利息何拾兩壹分は當ると云を知る小 壹ヶ月金壹兩ハ利金七分五厘ありハ
七分五厘にて法拾五兩を割ハ金貳拾兩
と出る則貳拾兩ハ付をヶ月
金壹分の利息と知るし

一 錢百文ハ白米壹升貳合の時五合の代を問 法ハ九拾六文を壹升貳合にて割ハ八拾文とみる長を法より
五合ハ掛ハ八拾文と知るなり

一 一切畝と云ハ水帳ハ壹反トの繩受を勝手とゆつて五畝と外ハ賃入ナリハ
讓渡ハ事なり

一 賃地ハ年季十ヶ年と限る置主直ハ其田地を小作を直小作と云外ハ
預け作らせると名田小作と云貳十ヶ年以上小作を承小作と云地主たる

とも子細なく地所を取上る事成さし

一 市年貢諸役置まらう物と頼納といふ不埒ある

一名主奥印が証地澄文利豆の定有八質地に立派小作澄文無も同し事也

一 隠田八檢地の時案内致さばいし置事して重き市法度なり

一 切削といふ有来りの田畑の積へ別し新田開発致し置たる也

一 切添といふ古田畑の地積を切廣げて抱へ込置といふ

一 川除並着八功者の入事也尺木牛棚水ハ砂石川小川に用ゆ幾牛も大河に

益少く谷川の欠苗又用水堰込に用て功らう聖年幾牛水ハ大河の突當り所水

勿し用ゆ沅粹ハ水深或流早所し用ゆ其沅は所し粹と得る石と投入し功者

の普清ハ出水に損しとも水と勿し瀬を移区者也川除の事ハ甲妙信玄公の時

代し始り能く牛粹亦違ひ得り享保の頃らう諸國にても用ひしと云

官許明治三年庚午四月刊

東京書林

相模	藤岡	森屋	山口	山崎	山崎	出雲	岡田	和泉	和泉	和泉	須原	須原	須原	須原	山城
屋	屋	屋	口	村	木	寺	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋
七	慶	治	藤	庄	喜	政	萬	嘉	吉	市	金	伊	佐	新	茂
兵	次	兵	兵	右	右	次	次	兵	兵	兵	右	右	兵	兵	兵
衛	郎	衛	衛	助	門	吉	郎	七	衛	衛	門	八	助	衛	衛

